

2024年度大規模火山噴火総合研究グループ研究集会

日時: 2024年12月16日(月)午後1時~5時半

12月17日(火)午前9時~午後3時

会場: TKPガーデンシティ鹿児島中央 鹿児島市中央町26-1南国アネックス 2階 霧島プレミアム

12分発表, 議論3分

	開始時刻	終了時刻	タイトル	発表形態	講演者	座長
12月16日	13:00	13:15	主旨説明		中道治久	為栗 健
	13:15	13:30	ディストロメータ降灰観測による桜島火山灰連続放出のモニタリング		瀧下恒星	
	13:30	13:45	火砕物放出における噴出密度制約に向けて		山田大志	
	13:45	14:00	レーダマルチセンシングシミュレータによる船舶レーダ噴煙観測のポテンシャル		真木雅之	
	14:00	14:15	船舶レーダによる桜島噴煙鉛直観測に水平観測を加えた方法		西 隆昭	
	14:15	14:30	軽石漂流モデルの開発	オンライン	井口敬雄	
			休憩			
	14:45	15:00	火山噴火時の密度流れ場の数値流体解析のモデリング		丸山 敬	山田大志
	15:00	15:15	噴火発生前の降灰予測システムの開発		井口正人	
	15:15	15:30	噴火発生時刻予測の高精度化に向けて		石井杏佳	
	15:30	15:45	Designating Hazard Zones for Early Warning and Evacuation Anticipating Massive Ash Fallout from Sakurajima Large Eruptions: Key Findings and Future Considerations		Haris Rahadiano	
	15:45	16:00	火山リスクコミュニケーションの新しいかたち		矢守克也	
	16:00	16:15	火山防災教育のためのクロスロードの効果に関する評価指標の検討ー富士山版クロスロードの開発ー		岡田夏美	
			休憩			
	16:30	16:45	富士山における外国人登山者の火山噴火に対する安全意識に関する調査研究		佐藤史弥	中道治久
	16:45	17:00	桜島大規模噴火に向けた地域住民の行動変容プロセスに関する研究		菅生 賢	
	17:00	17:15	共助の担い手主体形成プロセスにおける専門家の役割: 桜島防災実践を通じて		大西正光	
17:15	17:30	大規模噴火対応のためのロジスティクス		阪本真由美		
12月17日	9:00	9:15	火山噴出物の災害の軽減のための総合的研究		中道治久	山本圭吾
	9:15	9:30	DAS観測による有村川と野尻川における土石流検知		中道治久	
	9:30	9:45	桜島火山におけるNED(Non-Eruptive Deformation)発生時の噴出物の特徴と顕微分光による火山灰粒子の定量判別		本間凧々海	
	9:45	10:00	大規模噴火における客観指標に向けた噴出物定量記載ーラピリ試料の分光測色データの比較		嶋野岳人	
	10:00	10:15	始良カルデラで発生する群発地震活動の特徴		為栗 健	
	10:15	10:30	桜島北東海域における繰り返し海底地震観測		八木原 寛	
			休憩			
	10:45	11:00	噴火前傾斜変動の関数形の調査		前田裕太	為栗 健
	11:00	11:15	桜島爆発噴火前のガス放出の挙動		森 俊哉	
	11:15	11:30	2017年11月13日南岳爆発に伴う変動源の再検討		堀田耕平	
	11:30	11:45	精密水準測量による桜島火山の地盤上下変動(2024年11月測量の結果)		山本圭吾	
	11:45	12:00	宇宙線技術による活動的火山浅部ダイナミクスのスタディー	オンライン	田中宏幸	
	12:00	12:15	絶対重力観測によって明らかになった桜島での全島的な質量増加傾向		西山竜一	
			昼休み			
	13:30	13:45	桜島火山における相対重力時空間変動	オンライン	風間卓仁	中道治久
	13:45	14:00	富士山での2024年の重力測定取り組み		本多 亮	
	14:00	14:15	富士山の約2万年前の岩屑なだれ堆積物に含まれる埋もれ木		亀谷伸子	
14:15	14:30	安山岩質ブリニー式噴火のマグマ蓄積場と噴火様式遷移		前野 深		
14:30	14:45	桜島1914年大正噴火の軽石噴火期とそれに先立つマグマ上昇過程の復元		下司信夫		
14:45	15:00	議論				